

コスモタワーから夢洲を望む

秋晴れの日。図書館から飛び出し、地下鉄で「コスモスクエア」に向かう。さきしまコスモタワー展望台をめざす。「高齢者割引」を使い 600 円払って 55 階まで一直線。

閑散とした展望台から大阪湾を眺める。遠くに淡路島、神戸の街並み、大阪港や「USJ」なども見える。高い料金を払ってここに来たのは、夢洲を上から眺めるためだ。

これまでコスモスクエア駅近くから、夢洲を眺めてきた。コンテナ埠頭などは一応分かるが、カジノや万博に関する埋立地の状況が見えない。こうして 55 階から眺めると、夢洲全体がイメージできる。

あんなところにカジノと万博を誘致すると考えると、無性に腹が立ってきた。

コンテナ埠頭の奥の方にカジノ、その横に広がる埋め立て途中のところ

に万博を誘致しようとしている。「カジノ万博」について、思いをめぐらす。

コスモタワーに暗い歴史がある。1988 年策定の「テクノポート大阪」にもとづき、WTC(ワールドトレードセンター)は ATC(アジア太平洋トレードセンター)とともに第三セクター方式で 1200 億円の巨費をかけて建設されたが、債務超過に陥り経営破たんした。バブル崩壊後の「第三セクター問題」を象徴するものであった。

その後、大阪府の橋下知事がここに庁舎全面移転を表明し、府が約 85 億円で購入。2011 年 3 月 11 日の東日本大震災のとき、高さ 256 メートルの超高層ビルは、長周期地震動により天井が落下し、床に亀裂が入るなど、甚大な被害にみまわれた。エレベーター 32 基中 26 基が緊急停止し、うち 4 基に男性 5 人が 5 時間近くも閉じ込められたという。今回の台風 21 号でも、強風のため車が横転する映像を見た。タワー正面前に、大きな木が倒れていた。

コスモタワーは現在「大阪府咲洲庁舎」として利用されている。ここに IR 推進局もある。7~17 階にはホテルが入居するようだが、災害への備えは大丈夫だろうか。

(2018 年 10 月 12 日)

